

松林地区防災訓練

避難所開設・運営初動期訓練

地区名：松林地区

日 付：令和7年11月30日（日）

会 場：松林中学校

参加人数：101名

9自治会：61名（内、防災リーダー46名） 民生委員児童委員：15名 アマチュア無線：4名

看護師：1名 配備職員：14名 学校職員：2名 防災対策課員：4名

防災訓練の内容とポイント

この4月から7回の防災会議を重ね、「松林中学校 避難所運営マニュアル」をベースにした松林地区独自の「防災訓練実施要領」を作成しました。

訓練内容を、開設（初動期）⇒運営（展開期1 **step1**）「レイアウトづくり」までとし、ビブスの色別けによる5つの班がそれぞれの役割を実施しました

A班（レッド）：配備職員の補佐として安全確認～受付と名簿作成

B班（オレンジ）：避難者の誘導、受け入れ

C班（イエロー）：受付の設置、スペースづくり、情報受・伝達

避難者役班（ブルー）：今回は民生委員児童委員の方々にその重要な役割を担っていただきました

本部班（グリーン）：運営本部・学校職員・アマチュア無線（情報受・伝達訓練の指導）・看護師（看護レクチャー）

「レイアウトづくり」は全員で行いました。そして、「津波ハザードマップ」を基に「津波避難対策勉強会」の時間も設けることができました



防災訓練の感想

松林地区として初めてのテーマでしたので、とまどいや不慣れな点がみられましたが、参加者からは「やってよかった 次回も同じテーマで続けたい」という声が多くありました 今後は、「レイアウトづくり以降の避難所運営委員会設置」、「より具体的な要配慮者への対応」、「女性への配慮」そして「ペットへの対応」等の訓練にも挑戦していきたいと思います